

『見知らぬ国に想いを馳せて』 寸評

- ・よく手の入ったリズムの織物
- ・Vn.のピチカートとタンバリンが小気味よいリズムパターンを形成
- ・おちつきなくうごくFl.とファゴットも、初めて目にするめまぐるしい街の雑踏を彷彿とさせる
- ・ファゴットがメロディを支えるベースの役割をはなれ多用されるシンコペーションとともにきいててかろやか
- ・旅に出たくなるタイトル

完成度をさらに上げるために

- ・同属楽器にとらわれずタンバリンまですべてのパートをつらぬくグループ括弧でよい
- ・m.5 b.4 Vn. 四分休符でよい
- ・m.2,6,14 b.4 Bsn. 四分休符でよい
- ・m.1,13 b.2-3 タンバリン 八分休符2つの方が第3拍をみさだめやすい→読譜が容易

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

一聴 舞曲のようでもあり楽器のチョイスがナイス。

持魔 勉